

音楽科「楽器からどんな音色がきこえるかな」

名古屋市立笠寺小学校 平賀 真司

1 指導目標

楽器の種類による音色の違いや特徴を知り、聴く楽しさを味わえるようにする。

2 児童の実態

本学級の児童は、リコーダーや木琴などの楽器を手にとると喜んで音を出している様子が見られる。しかし、鑑賞曲で楽器の音を聴いているときは、独り言をつぶやいたり髪や指を触っていたりするなど、つまらなさそうにしている様子が見られる。この実態から、楽器の音を出して楽しむだけではなく、楽器の種類による音色の違いや特徴を知ること、聴く楽しさを味わえるようにしたいと考えた。

3 題材において目指す児童の姿

楽器の種類による音色の違いや特徴を知り、聴く楽しさを味わえるようにする。

4 学習効果を高めるための手だて

本学級の児童は、実際に楽器の音を出したり聴いたりしたときに、その場では味わって聴き、楽器の音色や特徴について知ることができるものの、後日振り返ると、思い出すまでに時間がかかったり、忘れていたりしている様子が見られる。そこで、自分や友達が実際に楽器の音を出しているときに、その様子をICT機器で録画して、繰り返し視聴することで、楽器の音色をいつでも確認できるようにする手だてを考えた。

5 指導計画

楽器からどんな音色がきこえるかな（5時間完了）

時数	主な学習活動
1	「楽器の名前を知ろう」 【ICT機器で写真を撮る】 音を出してみたいと思う楽器を選び、楽器の名前を知る活動。
2	「楽器からどんな音色がきこえるかな」 【ICT機器で録画する】 自分が選んだ楽器の音を実際に出し、楽器の音色を知る活動。
3	「楽器からどんな音色がきこえるかな」 【ICT機器で録画した楽器の音色を視聴する】 自分が選んだ楽器や、友達が選んだ楽器の音をロイロノートで繰り返し視聴することで、色々な楽器の音色や特徴を知る活動。
4	「楽器の音色を重ねたら、どんなふういきこえるかな」 【ICT機器で楽器を演奏している様子を録画して視聴する】 選んだ楽器の音色を一つずつ重ねて演奏し、ロイロノートで繰り返し視聴することで、色々な楽器の音色を重ねると、どんなふういきこえるかを知る活動。

5	<p>「曲からどんな楽器の音色がきこえるかな」</p> <p>【ICT機器で曲を流す】</p> <p>ロイロノートで楽器の音色を確認した後、曲を鑑賞し、聴こえてくる音色の楽器を当てたり、知っている楽器の音色が聴こえたら体を動かしたりする活動。</p>
---	---

6 授業の様子

(1) 楽器の名前を知ろう

音を出してみたい楽器をタブレットで写真撮影した。小太鼓の写真を撮ると「これは太鼓の種類はね」との発言をした児童がいた。すると、A児から「こっちに大きい太鼓があるよ」と発言があると、B児は「それは大きい太鼓だから、大太鼓。これは小さい太鼓だからしょう太鼓だね」と答えた。しかし、C児からこれは「小太鼓って言うんだよ」と発言があり、友達同士で楽器の名前を教え合っている様子が見られた。

(2) 楽器からどんな音がきこえるかな

前時で選んだ楽器の音を出し、「どんな音色が聴こえてくるかな」と発問した。すると、木琴の音色からは、「コンって音がする」「日常生活では聞こえない音がする」と発言があった。また、大太鼓の音色からは「ゴーンて音がする」「雷みたいな音がする」と発言があったほかに、体を震わせながら「音が震えている」などの発言もあり、音色を体で感じている様子が見られた。



資料①楽器の音色を繰り返し視聴している様子

楽器の音を出している様子を録画したものを、タブレットで繰り返し視聴する（資料①）と、「大太鼓は音の大きさによって音色が違って聴こえる」「木琴はピアノみたいにドレミってできるんだね」など、楽器の特徴について発言があった。

(3) 楽器の音色を重ねたら、どんなふういきこえるかな

自分で楽器を選び、楽器の音色を重ねる活動をした（資料②）。小太鼓を選んだ児童がベースとなるリズムを刻み、そのリズムに合わせて、ピアノと木琴の児童が低い「ソ」を出した。すると、キーボードを選んだ児童が自然に「ソソソレミミレ」と「ゆかいなまきば」を弾き始め、音色が重なる様子を楽しんでいる様子が見られた。



資料②楽器の音色を重ねている様子

楽器の音色を重ねている様子を録画したものを、タブレットで繰り返し視聴すると、「木琴の音が聴こえる」「ピアノが聴こえた」などの発言があり、楽器の音色を聴き分ける様子が見られた。また、重なった音色全体の音を聴いて、「楽しい気持ちになった」「元気が出る」などの発言があり、音色を重ねることで、楽器単体とは違う音色の雰囲気を感じ取っている様子が見られた。

(4) 曲からどんな楽器の音色がきこえるかな

タブレットで楽器の音色を確認した後、「化石～組曲『動物の謝肉祭』から」を鑑

賞し、「どんな楽器の音色が聴こえるかな」と発問した。すると「木琴」「ピアノ」と、聴いてすぐに答えることができた。次に、木琴の音が聴こえたら座席を立つ、ピアノの音が聴こえたら手を挙げる活動を行った（資料③）。全員が集中して楽器の音色を聴き、楽しんで参加している様子が見られた。



資料③知っている楽器の音色が聴こえたら体を動かしている様子

7 結果と考察

楽器の音色をタブレットで繰り返し視聴することによって、楽器の音色や特徴について知ることができた。また、楽器の音色を知ることによって、鑑賞するときに集中して聴くようになり、聴く楽しさを味わえるようになった。

8 今後の課題

楽器の音色や特徴について知ることができ、聴く楽しさを味わえるようになった。しかし、楽器の音色については感じ取っているものの、曲全体の音の重なりや、それがもたらすよさや美しさを感じ取っているとはいえない。今後の課題として、楽器の音色が重なったときの、よさや美しさについて感じ取れるようにしていきたいと考える。